

いわて短角牛の肥育牛標準飼料給与モデル

(畜試 肉牛部)

1. 背景とねらい

短角牛肉の流通は産直方式が主流となっているが、一部の業者や消費者から20%を越す低枝肉規格牛の品質改善が強く望まれている。

そこで、県内で出荷された日本短角種の肥育データ等を調査分析し、さらに産肉能力検定成績および最近の日本短角種飼養試験等を参考にして、「肥育牛標準飼料給与モデル」の改訂版を作成したので普及奨励事項に供する。

2. 技術内容

1) 「肥育牛標準飼料給与モデル」の概要

(1) 肥育目標

	去勢牛	雌牛
出荷体重	650kg	620kg
枝肉歩留	59%以上	
出荷月齢	22ヵ月齢	23ヵ月齢
枝肉規格	A-2以上	

(2) モデルに用いた飼料成分

現物中%

飼料名	D	M	TDN	DCP
配合飼料	87.0		72.0	10.0
大麦圧片	88.2		74.1	7.6
稲ワラ	87.8		37.6	1.2
乾草	83.7		46.7	4.6
デントコーンサイレージ	27.2		18.4	1.3

(3) 「肥育牛標準飼料給与モデル」

表 I 乾草主体型

去勢牛 (出荷体重650kg, 肥育期間15ヵ月)

目標体重 230 251 275 302 332 362 392 422 452 482 512 542 572 599 626 650

D G 0.7 0.8 0.9 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 0.9 0.9 0.8

月 齢 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

I 乾草主体型																	合計
飼料給与量	配合飼料	3.0	3.5	4.0	5.0	5.0	5.5	6.0	6.0	6.5	6.5	7.0	7.5	7.5	7.5		2,640
	大麦圧片										1.3	1.4	1.5	1.5	1.5		261
	稲わら										2.5	2.0	2.0	2.0	2.0		375
	乾草	2.5	2.5	2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5							980

表 II デントコーン主体型

去勢牛 (出荷体重650kg, 肥育期間15ヵ月)

目標体重 230 251 275 302 332 362 392 422 452 482 512 542 572 599 626 650

D G 0.7 0.8 0.9 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 0.9 0.9 0.8

月 齢 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

II デントコーン主体型																	合計
飼料給与量	配合飼料	2.0	2.0	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.0	5.5	6.5	7.0	7.5	7.5	7.5		2,340
	大麦圧片								1.0	1.1	1.3	1.4	1.5	1.5	1.5		324
	稲わら											2.0	2.0	2.0	2.0		300
	デントコーンサイレージ	11.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	11.0	10.0	8.0						3,540

表Ⅲ 乾草・デントコーン併用型

去勢牛 (出荷体重650kg, 肥育期間15ヵ月)

目標体重 230 251 275 302 332 362 392 422 452 482 512 542 572 599 626 650

D G 0.7 0.8 0.9 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 0.9 0.9 0.8
 月 齢 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

Ⅲ 乾草・デントコーン併用型																	合計
飼	配合飼料	3.0	3.5	4.0	5.0	5.0	5.5	5.5	6.0	6.5	6.5	7.0	7.5	7.5	7.5		2,640
料	大麦圧片									1.3	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5		261
給	稲わら									1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	2.0		330
与	デントコーン	3.5	4.0	5.0	5.0	6.5	6.5	8.0	8.0	7.5							1,620
量	乾 草	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.7						321

表Ⅳ 乾草・デントコーン併用型

雌肥育牛 (出荷体重620kg, 肥育期間16ヵ月) 「乾草・デントコーン併用型」

目標体重 220 241 265 289 316 343 370 397 424 451 478 505 532 556 580 601 622

D G 0.7 0.8 0.8 0.9 0.9 0.9 0.9 0.9 0.9 0.9 0.9 0.9 0.8 0.8 0.7 0.7
 月 齢 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22

Ⅳ 乾草・デントコーン併用型																	合計
飼	配合飼料	3.0	3.5	3.5	4.0	4.5	5.0	5.0	5.5	6.0	7.0	7.0	7.5	7.5	7.5	7.5	2,745
料	大麦圧片											1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	267
給	稲わら											1.5	1.5	2.0	2.0	2.0	330
与	デントコーン	5.5	6.5	8.0	9.0	9.0	9.0	10.5	10.5	10.5	8.0						2,595
量	乾 草	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5						285

3. 指導上の留意事項

1) 新旧モデルの違い

(1) 出荷牛の約3割は雌牛であり、去勢牛に加え雌牛の飼料給与モデルを追加作成した。

(2) 出荷月齢20ヵ月齢未満では1等級の割合が高くなるので、旧モデルで出荷月齢が19ヵ月齢(肥育短縮型)および21ヵ月齢(とうもろこし利用型・グラスサイレージ利用型)であったものを去勢牛22ヵ月齢、雌牛23ヵ月齢とした。

(3) 出荷体重は肥育期間が延びたことに伴い、旧モデルの620kgに対して新モデルでは650kgとした。

2) モデルと異なる飼料を給与する場合は成分分析を行い、モデルを参考に給与計画を作成する。

3) 月に1回以上体重を測定し、発育・肥育状況を常に把握しておくこと。

4) 肉質等級3以上を目指すためには、産肉能力検定成績等を参考にしてもと牛を選定する必要がある。

4. 試験成績概要

2. 技術内容の(3)「肥育牛標準飼料給与モデル」のとおり